

函館 ハリストス正教会

2020年10月 第80号



発行者：函館ハリストス正教会 長司祭列門ト児玉慎一
〒040-0054 函館市元町3-13

TEL(0138)23-7387/FAX (0138)23-7939

URL <http://orthodox-hakodate.jp>

Email frclement205@gmail.com

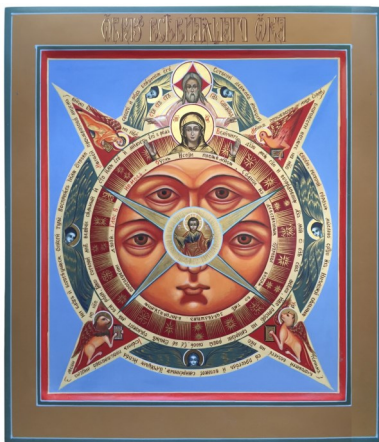
編集者：会報編集委員会 郵便振替 02660-5-1721

神の計らい ～全て益あるもの～

私たちは人生において喜ばしいことにも喜ばしくないことにも出会います。健康、楽しみ、勤勉、進歩、希望、裕福、満足、平和、名誉など喜ばしいものと思われるものがあり、反対に病、苦しみ、怠慢、衰退、絶望、貧困、不平、争い、恥など避けて通りたい喜ばしくないと思われるものもあります。出来れば前者に豊かでありたいと多く的人是は願うだろうし、反対のことにならないようにと努めるのが常と思います。

しかし、今日ある私たちの存在が全く神の創造の結果であり、あらゆることが筆舌に尽くしがたい神の愛に満ちた計らいによって私たちに与えられた機会であるとすれば、これら相反する出来事も単純に私たちの思いだけでその良し悪しを言えないかも知れません。

ダマスコの聖ペトルはあらゆる良きものと思われるものは、それを与えられた恩人に対して私たちが感謝の心を思いめぐらすように導かれるものであり、また



あらゆる悪しきものと思われるものは我々をかえって忍耐と謙遜、よき希望に至らしめ、来るべき世においてだけでなく、今の世においても大きな慰めとなっているものであると教えました。つまりすべての出来事は私たちの身に意味あるよき変化を及ぼすものであるということです。

「蓋主の言は正直にして、其悉くの行為は真実なり」（聖詠32:4）

神の計らいは正しく、全ての業は私たちを真の信仰に導くものと教えるこの聖詠は、目を天に向けても地に向けても、その秩序をよく観察すれば全てに神の計らいがあり恩寵が充満していることを示しています。私たちは肉体の目で見えて知って神を信じてはおらず、霊と智慧をもって信じています。この世のあらゆるもの全てに対してもその背景には神の深遠な計らいがあり自らに益あるものと覚えるのであれば、私たちは何事にも動ぜず、一層神の僕として相応しい者に変じられて行くことでしょう。（K）

敬老感謝祈祷と秋季総パニヒダ行われる 函館 9/20



▲パニヒダへ持参された糖飯



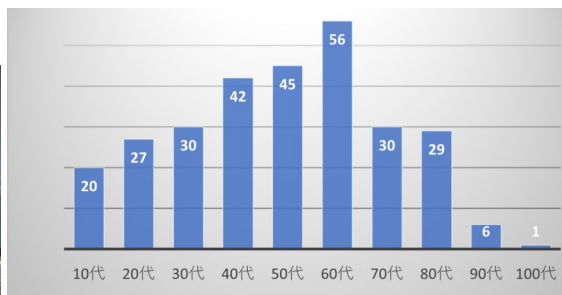
▲敬老の感謝祈祷を献じました



▲幾年もが歌われ、聖水が注がれました

9月20日(日)、聖体礼儀に引き続いて敬老感謝祈祷と秋季総パニヒダが行われました。敬老感謝祈祷については教会では70歳以上の方々にご案内していますが、今年は67名の該当者がありました。コロナのこともあり、例年行っている祝賀会は中止となりましたが、感謝祈祷を献じ、教会からお祝いの菓子と当日参拝された方々には着物の帯をリメイクした小物入れが贈られました。

ちなみに函館正教会の信徒の年齢構成は下記のグラフのように60代が最も多く、以下50代、40代、30代と続きます。意外に次世代の構成人数が多く、現役で忙しいとは思いますが、教会への関心を一層持っていただくように働きかけたいものです。



また秋季総パニヒダも行われました。パニヒダ台には糖飯が並べられ、各自提出した記憶録が読み上げられて永遠の記憶をお祈りいたしました。

北海道ブロック宣教会の開催 小樽 9/26-27



9月26日(土)、27日(日)の両日にわたり小樽正教会において今年度の第1回目となる北海道ブロック宣教会議が開催されました。

函館管轄は今回出席できませんでしたが今年の信徒総会において執事に選出されたキリール高井秀樹兄と上磯のイリヤ坂下洋光兄、札幌はグリゴリイ森川正章兄、小樽はステファン鈴木良美兄、苫小牧はマトフェイ平井孝兄、釧路はダミアン勝又博兄が宣教委員です。新しく委員となった方々を交えた初会合となりました。

前回の神父のみの会議の報告があり、宿泊交通費の補助要請を教区会議に提出し承認されたこと、旅費規程を改訂したことなどが説明されました。続いて各教会の活動報告と今年度予定されている活動の検討が行われました。11月末の函館での聖歌研修会は見送りとなり、代わって予定されていた日程で宣教会議を開催して、今後の聖歌研修会の在り方とリモートによる会議や研修の開催の可能性を探ることを主たる議題にして討議することとしました。

その他、様々なテーマについて意見交換し、宣教委員会の在り方を含め今後の活動についての話し合いが進められました。



▲宣教会議の様子



▲久しぶりに小樽に道内管轄司祭全員が揃いました

日本正教会聖自治50周年記念式典 東京 9/13



聖堂中央に置かれた聖ニコライの不朽体

9月13日(日)、「聖ニコライ列聖・聖自治50周年及びロシア正教会日本伝道団創立150周年記念式典」が東京復活大聖堂にて開催されました。

本来はキリイル総主教聖下のご来臨を賜り、盛大に日本正教会の聖自治50周年を祝う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、残念ながら参加人数を大聖堂の信徒に制限した小規模な形で行うこととなり、記念式典には日本正教会を代表して各教区の宗務局長と代表信徒若干名、キリル総主教聖下とロシア正教会の代表として、駐日ポドヴォリエのニコライ・カツュバン神父様とロシア連邦大使館関係者が参拝されました。

当日は午前10時から記念聖体礼儀が行われ、続いて聖ニコライのモレーベンがセラフィム大主教座下のご司祷で献じられました。記念式典ではダニイル府主教座下が聖自治50周年の祝辞を述べられ、続いて総主教聖下からの祝辞を駐日ポドヴォリエのニコライ・カツュバン神父様が代読し、記念に聖ニコライのイコンが贈呈されました。また駐日ロシア大使の祝辞が代読されました。日本正教会からは総主教聖下に記念品の西陣織の反物を贈呈しました。その後谷中の主教墓地にてセラフィム大主教座下のご司祷で聖ニコライのモレーベンを献じ、各主教に永遠の記憶が行われました。(教団ホームページより)



上磯正教会だより

9月22日(秋分の日)の晩、上磯正教会では秋季の総パニヒダが行われました。

8月のお盆に合わせて帰省した親族が一堂に集まって行われる盛大な墓地祈祷も、日中ではなく夜に行われるパニヒダも、農業を糧とする信徒が多い地域で、昔から続いている習慣です。今でこそ高齢化のために参拝者も少し減っていますが、若い方々にも良き古き伝統として受け継いでいてもらいたいものです。

次世代を担う信徒の教会への関心を高めて、彼らの集まる機会が必要ですが、どのようなことが出来るか皆で知恵を出し合って工夫していきたいと思います。



花壇の整備と草刈り

9月末の4連休に沢山の拝観者が訪れたその傍らで来年に向けた花壇の整備と草刈りをしました。混みあっていたアイリスや水仙を掘り返し、挿し木をしたアジサイを仮植えしました。春に移植したバラも元気に育ち、宿根の花々も来年には植え替えてどんな花壇にするか思案中です。懐かしい作業でした。



婦人会より

お当番さん、宜しくお願い致します！

◎10月のお当番 … ユリヤ松井真佐子姉、アナスタシヤ村岸いづみ姉
(食事当番はありません。お掃除などをお願いします。)



執事会報告

日時 令和2年9月20日(日) 午後1時半～3時半

場所 信徒会館執事会室

項 目	内 容
報告事項	・ 8/17(月) 矢木和孝兄一年祭パニヒダ ・ 8/25(火) 工事前写真撮影 ・ 9/13(日) 聖自治50周年記念行事(東京) ・ 9/15(火) ミハイル加藤正弘兄、ソサンナ加藤俊姉改葬(東山墓園) ・ 9/16(水) 文建協打合せ(電気設備関係) ・ コロナ禍による教団からの教区分担金支援について ※函館正教会への特別交付金額は876,000円。 ・ 電力料金の節約について ※電気会社ジニーエナジーと契約。これにより電気料を約25%削減。
予定	・ 9/24(木) 諸規則検討委員会(東京) ・ 9/26-27 北海道ブロック宣教会議(小樽) ・ 11/28-29 北海道ブロック聖歌リーダー研修会(函館) ※ブロックの研修会を含めて小樽の宣教会議で最終決定の予定。
協議事項	・ 墓地規定について(墓地管理使用規定、使用許可願書式) ※墓地管理使用規定の文言を再検討して決定し、墓地使用許可願の書式も確認した。墓地管理簿(地番、使用者等の情報)の完成を待って信徒に周知する。 ・ 境内街路灯のLED化について ※境内の2か所の街路灯を現在の水銀灯からLED化する。電球が生産中止となるため。市の補助を利用するため手続きを確認して申請する。 ・ AEDの設置について ※教団から補助のあるAEDの設置案内が届いたが、現状では設置してもきちんと運用できないとの意見が多く今回は見合わせる。 ・ 聖堂保存修理工事関連(市民・近隣への工事着手の案内 他) ※現在の聖堂が工事に入るという事実をもっと広報すべきであるとの意見が出た。工事自体は可能な限り現状を損なわないで修復を行う予定であり、また施工、管理、広報、記録等は文化庁、文建協、道、市と教会が一体で行うので教会の一存で対応出来ない部分もあるが、工事内容が一部しか公開されていないと、市民への周知も不十分と考えられるので市の担当者とも連携して、報道機関や観光課の利用などを検討していく。町内会には直接事情説明を行う。
その他	・ 来月の日程 10/4 聖名日モレーベン 10/10-11 上磯巡回 10/18 執事会

函館正教会献金報告

2020/8/24～2020/9/29分

※敬称略

日付	種 類	氏 名	金 額	日付	種 類	氏 名	金 額
8/30	感謝献金			9/18	パニヒダ献金		
8/30	感謝献金			9/25	パニヒダ献金		
8/31	会報献金			9/25	感謝献金		
9/6	感謝献金						

【墓地献金】

【聖名祭献金】

【大祭献金】

9月

【敬老感謝献金】

10月の聖名祭

聖名日が10月の方々の聖名祭モレーベンを10月4日(日)に聖体礼儀に続けて行います。是非ご参拝下さい。

※先月号の9/30の聖名リュボフの一覧で「下田節子姉、与田映里姉、若松愛姉」のお名前が掲載漏れてした。お詫びして訂正いたします。



聖名日	聖 名	氏 名
10/4	ディミトリイ	落合良平
10/8	セルギイ	下田行孝、松井勘太郎、イリイン・セルギイ
	エフロシニヤ	高田郁代
10/9	イオアン	荻原亘、盛田誠、関本博、高島輝彦
10/13	ミハイル	樋口和彦
10/15	イウスティナ	村井ルミ
10/16	ディオニシイ	中居宏行
10/18	アレキセイ	齋藤心
10/20	セルギイ	入間川三弘、大村祐二
10/21	ペラギヤ	南純子
	タイシャ	高井醇子
	イアコフ	村井良行
10/22	アフアナシヤ	北越真佐子
10/24	ジナイダ	大谷雅子
10/31	マリン	昆信行
	ルカ	路光龍舎、荻原崇、勝田 寛三

9月の教会日誌

いつもであれば今頃はバザーの諸準備に忙しい頃ですが、今年は中止。手持無沙汰な感じでやはり寂しいですね。

- 9/11(金) 樺電工業の担当と境内街路灯のLED化の相談をしました。
- 9/15(火) 東山墓園で加藤家の墓所の改葬が行われました。
- 9/16(水) 文建協と電気工事業者とで聖堂工事の電気設備の確認をしました。
- 9/22(火) 上磯正教会で秋季パニヒダが行われました。
- 9/24(木) 諸規則検討委員会に出席のため本会に出張しました。
- 9/26-27 道ブロック宣教会議出席のため小樽に出張しました。

10月の奉事・行事予定

3日(土)	函館	17:00	主日徹夜祷 第8調 福音経：ルカ114端 24:36-53
4日(日)	函館	10:00	五旬祭後第17主日聖体礼儀 使徒経：コリント後 182半端 6:16-7:1 福音経：マコフエイ 62端 15:21-28 ●聖名日モレーベン
10日(土)	上磯	19:00	主日晚課 第1調
11日(日)	上磯	10:00	五旬祭後第18主日聖体礼儀 使徒経：コリント後 188端 9:6-11 福音経：ルカ 17端 5:1-11
	函館	10:00	主日代式祈祷 誦経：下田兄
17日(土)	函館	17:00	主日徹夜祷 第2調 福音経：イオアン64端 20:11-18
18日(日)	函館	10:00	五旬祭後第19主日聖体礼儀 使徒経：コリント後 194端 11:31-12:9 福音経：ルカ 26端 6:31-36 ■定例執事会
24日(土)	函館	17:00	主日徹夜祷 第3調 福音経：イオアン65端 20:19-31
25日(日)	函館	10:00	五旬祭後第20主日聖体礼儀 使徒経：ガラティヤ 200端 1:11-19 福音経：ルカ 60端 7:11-16
31日(土)	函館	17:00	主日徹夜祷 第4調 福音経：イオアン66端 21:1-14
11月1日(日)	函館	10:00	五旬祭後第21主日聖体礼儀 使徒経：ガラティヤ 203端 2:16-20 福音経：ルカ 35端 8:5-15 ●聖名日モレーベン



編集後記



少しずつ秋の深まりを感じる頃となりました。工事による聖堂の閉鎖も近づいています。現聖堂での奉事も残り3か月、その後は2年間にわたり信徒会館を仮聖堂として奉事が行われます。一抹の寂しさもありますが、今のうちに出来るだけ参拝しましょう。

写真は上空からの五稜郭。町を見下ろして離着陸する飛行機は大変スリリングです。(K)

